

# JA栗東市 自己改革取組状況



# J A 栗東市 自己改革取組工程表

## I. 農家組合員の農業所得の増大と農業生産の拡大

責任部署	重点施策	評価指標 (直近値)	目標値	
			H29	H30
農業支援部 (農産課) 宮農担当	米・小麦・大豆の生産振興と品質向上への取組みを実施し、1等比率の向上を目指します。	(米) H28年 37% H29年 24.8% (小麦) H28年 0% H29年 74.8% (大豆) H28年 0% H29年 52.1%	60.0% 30.0% 80.0%	70.0% 50.0% 80.0%
農業支援部 (農産課) 宮農担当	小麦あと等に秋冬野菜の作付けを推進し、園芸作物の生産振興に取組みます。	H28年130.0a H29年240.0a	143.0a	157.0a
農業支援部 (農産課) 宮農担当 施設販売担当	生産から販売までのトータルコスト低減に取組みます。 (土壌分析の実施) (米：直販率) (野菜：直売所を中心とした販売先確保)	土壌分析 H28年79検体 H29年38検体 米：直販率 H28年47.3% H29年55.1% 野菜(販売高) H28年 478,459千円 H29年 474,240千円	87検体実施 50.0% 450,000千円	96検体実施 52.0% 460,000千円
農業支援部 (農産課) 宮農担当	環境こだわり農産物主体による商品ブランド力の向上に取組みます。 (米関係生産部会の活性化) (果樹関係生産部会の活性化)	環境こだわり米出荷量 H28年 102.0t H29年 119.2t 果樹(販売高) H28年 8,780千円 H29年 6,093千円	106.8t 9,000千円 新規 2名	110.0t 9,200千円 新規 2名
農業支援部 (農産課) 宮農担当	栽培管理日誌記帳の徹底と県指針に基づくGAP(農業生産工程管理)導入により安全・安心な農産物づくりを実践します。	栽培管理日誌提出率 100.0% 出荷前に記帳内容の確認を実施 無花果GAP導入検討会 2回開催	100.0% 検討	100.0% 実施
農業支援部 (農産課) 宮農担当	農産・経済・金融各部門との連携を強化し、訪問活動を中心とした経済部門の営業体制の構築を図ります。(TAC活動軒数)	TAC訪問軒数 H28年 48軒 H29年 34軒	内容に応じた他部門との同行訪問の実施	内容に応じた他部門との同行訪問の実施
農業支援部 (農産課) 施設販売担当	農産物の系統共販の販売強化による契約数量増加を図ります。 (米の契約販売強化)	米の契約販売 H28年 94.5t H29年 162.0t	165.0t	200.0t
農業支援部 (農産課) 施設販売担当	事業利用者ニーズへの対応による施設の効率的な運営を行います。 (集落宮農組織・認定農業者向け育苗の大口奨励支援)	育苗大口利用シェア率 H28年 19.1% H29年 18.5%	20.0%	22.0%
農業支援部 (農産課) 宮農担当 施設販売担当	地元農産物、花卉類を中心とした農業生産の向上を図ります。 (研修会開催等による花卉類生産拡大) (研修会開催等による学校給食野菜の生産拡大)	販売所(販売高) H28年 87,388千円 H29年 91,708千円 花卉類(販売高) H28年 6,648千円 H29年 5,335千円 学校給食(販売高) H28年 5,562千円 H29年 5,997千円	74,000千円 9,000千円 6,000千円	75,000千円 10,000千円 7,000千円

平成30年12月末現在

行 動 計 画	平成30年度第3四半期 進捗状況									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロックローテーションによる水田フル活用の推進とTAC訪問活動や現地巡回指導により、肥培管理や防除等指導強化に取組みます。また、良品質栽培への取組みを強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1等比率（米）40.4% （小麦）100%（大豆）28.5% （米）品質の低下しているキヌヒカリからみずかがみ・環境こだわりコシヒカリを推進。 みずかがみ18名12.6ha→53名24.7ha、 特裁4名増 （小麦）小麦品質向上展示圃30a設置 （大豆）播種時期による播種量の調整</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋冬野菜栽培研修会の実施により水田畑作事業の拡大に取組みます。 （推進品目：白菜・キャベツ・ブロッコリー）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者を中心に253.5aに拡大（予約） 悪天候のため、2名47a定植できず206a 近江のキャベツ 40a→71a 園芸用農業機械レンタル事業の拡大（溝掘機） 「玉葱」買取販売（725kg）</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TAC活動を通して土壌分析を実施し、効率的な施肥管理により作物の品質向上を行います。</li> <li>・米については、直販率52%に向けた販売戦略（地産地消）を展開します。</li> <li>・米、野菜等の販売先確保については、直売所並びに商工会等との連携を図り、販売取引の多様化に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌分析58検体（有機ネットワーク会員） 米部会会員において実施中（27検体）</li> <li>・平成30年産米 直販率 71.6 % 直販数量13,286袋→17,000袋</li> <li>・野菜（販売高）329,237千円（12月末） 計画対比93.2%</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米関係生産部会の組織活性化と担い手を中心に環境こだわり農産物の作付推進に取組みます。</li> <li>・果樹関係生産部会の組織活性化と新規生産者の育成・確保により栽培面積の拡大に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷数量  <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>こんぜ清流米</td> <td>660袋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別栽培米</td> <td>3,635袋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,295袋</td> <td>128.85 t</td> </tr> </table> </li> <li>平成30年8月より栗東産環境こだわりコシヒカリを学校給食センターへ供給 31.1 t 10,712,140円</li> <li>・果樹（販売高）6,099千円</li> </ul>	こんぜ清流米	660袋		特別栽培米	3,635袋		合計	4,295袋	128.85 t
こんぜ清流米	660袋									
特別栽培米	3,635袋									
合計	4,295袋	128.85 t								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者に栽培管理日誌記帳の必要性の説明を行うことにより、栽培管理日誌の記帳精度・提出率の向上に取組みます。</li> <li>・無花果については県指針に基づくGAP（農業生産工程管理）導入の検討に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米・麦・大豆・元気や出荷栽培管理日誌提出 平成31年産米より栽培管理日誌変更</li> <li>・学校給食センターへの供給（野菜）についても栽培管理日誌提出</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TAC活動について部門間連携を強化し、他部門との同行訪問を実施し資金需要等を含めた担い手の課題解決に向けた取組みを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購買部門同行 21軒</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統共販については、生産者を含めた4者契約（生産者・JA・全農滋賀・販売先）</li> <li>・複数年契約を行い、農産物の早期結び付き販売を行うことで経費削減に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫前契約 90.9t</li> <li>・複数年契約（平成30年産） 合計13.5t</li> <li>・RP（ライスプランナー）を編成し、米の集荷拡大を目指す。（H30）</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TAC活動により利用事業の支援対象となる奨励措置（メニュー）内容等の要望調査を行い、かかる要領の策定を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口利用シェア率 18.3% 9,604箱 / 52,593箱 1,203,860円奨励</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作への依存から野菜類・花卉類栽培を促進するため各種研修会を開催し、栽培技術の底上げで農業所得の増大に取組みます。</li> <li>・学校給食では、栗東市との協議を重ね生産に関する情報の共有を図り、研修会を開催し品目拡大並びに栽培技術の底上げで農業所得の増大に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業まつりにて、出荷者の表彰を実施 出荷者研修会（7/17、10/29）計57名出席 3回目を3月に計画中 9月号広報にて生産者募集 販売所（販売高）67,618千円 花卉類（販売高）4,612千円 学校給食（販売高）3,534千円 少量土壌システムでの花卉生産者募集提案</li> </ul>									

## I. 農家組合員の農業所得の増大と農業生産の拡大

責任部署	重点施策	評価指標 (直近値)	目標値	
			H29	H30
農業支援部 (購買課)	TACと連携して、土壌分析結果を踏まえた適正資材を提供することにより地元農産物の品質向上に取り組めます。	土づくり資材供給量実績 H28年108.0t H29年114.2t	111.0 t	115.0 t
農業支援部 (購買課)	予約購買による価格奨励や水稻肥料予約引取りによる価格奨励で生産資材コスト低減に取り組めます。	水稻肥料予約引取率 H28年65.0% H29年71.8%	67.0%	70.0%
農業支援部 (購買課)	食味分析計を活用し、営農課と連携のもと栽培指導と消費者の趣向に合わせた米の品質向上に努め、安全・安心な栗東米の消費拡大に取り組めます。	米供給量実績 H28年 410.0t H29年 393.9t	415.0 t	420.0 t
農業支援部 (購買課) 資材センター	利用しやすい身近な店舗として、苗や生産資材の品揃えの充実や営農相談機能を発揮し、資材センターが地域農業に貢献できるよう取り組めます。	資材センター実績 H28 74,540千円 H29 80,764千円 小口肥料予約実績 H28年1,412袋 H29年1,322袋	1,700袋	2,000袋
販売促進部 (直販課) (田舎の元気や) 販売所	地元農産物の販売拡大のため、近隣の競合店にはない販売所特有の品揃えと価格設定を行います。	地元農産物の販売金額 H28 52,640千円 H29 49,985千円 研修会実施回数 H28 2回 H29 3回 イベント・売り出し H28 16回 H29 15回 情報誌掲載 H28 12回 H29 13回	58,000千円 2回/年 17回/年 14回/年	59,000千円 2回/年 18回/年 14回/年
販売促進部 (直販課) (田舎の元気や) 販売所	地元農産物によるJA栗東市加工品ブランドの開発及び開発商品の取扱い拡大を行い、生産拡大に繋がります。	ブランド品の開発 H28 新規 0件 H29 新規 0件 既存ブランド品の取扱量 H28 前年比 111.0% H29 前年比 90.1% 協議会の開催 H28 1回/年 H29 1回/年 外部販売新規 H28 1ヶ所 H29 2ヶ所	開発検討 前年比 120.0% 2回/年 3ヶ所	新規1件 前年比 120.0% 2回/年 3ヶ所
金融部 (貯金課)	県域企画応援事業を活用して農業生産の活性化を図ります。	導入機械等の稼働状況	導入	本格稼働
金融部 (資金課)	アグリマイティー資金、農トラローン等の融資拡大に取り組めます。	農業関連融資実行額 H28 アグリマイティー資金 22,070千円 農トラローン 2,970千円 H29 アグリマイティー資金 25,900千円	25,000千円	25,000千円

平成30年12月末現在

行 動 計 画	平成30年度第3四半期 進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌分析実施対象者を増やし、効率的な土づくり資材等の提供により、地元農産物の品質向上に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年産米土づくり予約資材供給量 6,250袋 125 t</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約購買や水稲肥料予約引取りの価格奨励を継続するとともに、未利用先への推進による利用者拡大により生産資材コスト低減に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度水稲肥料予約引取り（2回実施）土づくり資材引取率 71.5% 水稲肥料引取率59.3%（4,384袋/7,396袋） 予約購買を組合員宛の回覧だけではなく、販売所・学校給食出荷者、㈱リッチグリーン生産者を対象に広げて供給量確保に努める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食味分析計による測定を行うことにより、米の旨さを数値化し付加価値の高い粟東米の消費拡大に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業まつりにて、食味計無料測定会実施 米供給実績387.3 t 114,404,568円</li> <li>・ 粟東産滋賀羽二重糯使用丸もち・鏡餅販売</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材センターが身近な店舗として、店頭での苗の栽培方法の掲示や営農相談員によるきめ細やかな営農指導とともに、小口肥料予約や定期的な売り出しによる価格対応により、農業所得の増大並びに地域農業に貢献できるよう取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材センター実績 73,514千円 計画対比105.3%</li> <li>・ 小口肥料キャンペーン 実績1,129袋</li> <li>・ お客様感謝デー「サンキュー day」実施</li> <li>・ 簡易土壌診断を毎月実施(セール時) 68検体</li> <li>・ 来店者へのアンケート実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産部と連携を図り、「田舎の元気や」出荷者研修会を開催して年間を通じて計画的な出荷提案を行います。</li> <li>・ 情報誌・売り出しによる地元農産物の宣伝を行います。</li> <li>・ 各生産者に市場価格の情報を伝え、他競合店より安価な価格設定による販売を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度地元農産物の販売金額 36,611千円</li> <li>・ 平成30年度出荷者研修会 2回開催</li> <li>・ 平成30年度イベント・売り出し11回開催</li> <li>・ 平成30年度情報誌掲載12回</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元農産物を使用した加工品の新規開発の取組みとして、関係部署や生産者との協議を進める場づくりを行います。</li> <li>・ 既存の粟東ブランド商品の宣伝と「田舎の元気や」店舗外での販売を積極的に行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元野菜を使用の商品開発（ドレッシング等）の検討</li> <li>・ ブランド商品「金勝」、(純米酒、かぼちゃ焼酎)</li> <li>・ 外部販売新規 1ヶ所（県内ホテルへ下期販売予定）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県域企画応援事業の運用会議を実施し、資金活用先の各事業について検討を行い、TAC等を中心に、導入機械等の稼働状況並びに、生産・販売状況の確認を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トラクター導入（畔塗・溝掘り）稼働件数 畔塗利用17件 溝掘り利用1件 延べ使用距離 畔塗 6,936m 溝掘り 2,528m</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業者への融資実行に伴い、利子補給を行うことによる低コストの資金の活用により、生産コストの低減化と、新たな機械導入等の提案（購買課）を含めた需要の掘り起こしを図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業関連融資実行額 5件590千円 資金相談 1件（平成30年12月末現在）</li> </ul>

## II. 総合事業による地域の活性化とくらしの支援

責任部署	重点施策	評価指標 (直近値)	目標値	
			H29	H30
販売促進部 (直販課) (田舎の元気や) レストラン おにぎり亭	地元農産物を使用した季節の料理や地元ならではの料理の提供を通して、地域の消費者と生産者との交流を図ります。	(レストラン) 地元産農産物仕入率 H28 80.0% H29 85% (おにぎり) 期間限定回数実績 H28 4回 H29 6回 地元産使用の新規開発 H28 0件 H29 1件	90.0%  6回  1件	95.0%  6回  1件
販売促進部 (直販課) (田舎の元気や) 3号館	地元生産者と地域消費者との交流拠点の場づくりを目的に栗東産加工品出荷物の販売拡大を図ります。各加工生産者のオリジナル商品の販売数増加に向けた企画を行います。	加工品出荷物販売金額 H28 22,560千円 H29 28,005千円 宣伝の掲載回数 H28 8回 H29 8回 個別販売実績の増加 H28 0% H29 120%	25,000千円  12回/年  110.0%	26,000千円  12回/年  110.0%
金融部 (貯金課)	次世代層への取組みとして、支店を拠点とした事業を行います。	開催回数 H28 0回 H29 1回	1回	2回
金融部 (共済課)	地域におけるJAの存在価値を高めるため、交通安全教室を実施します。	実施回数 H28 1回 H29 2回	1地区	1地区
管理部 (総務課)	女性組織の再編と協同活動の場の提供による女性部の活性化を目指します。	JA栗東市としての 各種活動の拡大	検討・調整	実施
管理部 (総務課)	農業体験、地産地消を通じて「食と農」、「地域とJA」の理解を広げます。	わんぱくスクール開校 H28 参加数 40名 H29 参加数 47名 クッキングフェスタ開催 H28 参加数 100名 H29 参加数 98名	40名  100名	40名  100名
管理部 (総務課)	組合員、地域住民が一体となった高齢者の健康・生きがいづくりに向けた取組みを行います。	「JAみどりの会」の サロン開催会場・ 協力会員拡大 H28 参加数 640名 H29 参加数 513名	660名	680名

平成30年12月末現在

行 動 計 画	平成30年度第3四半期 進捗状況
<p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在提供している商品の見直し検討を常に図り、地元農産物を使用するために、「田舎の元気や」販売所で農産物の購入は全て行います。</li> </ul> <p>(おにぎり亭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米については粟東産コシヒカリを使用します。具材については、地元産を使用した商品の提供を期間限定商品として導入・販売を行います。</li> </ul>	<p>(レストラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度地元産農産物仕入率 80.0%</li> </ul> <p>(おにぎり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間限定回数 実績 5回</li> <li>・地元産使用の新規開発 滋賀県産 もち麦使用</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各切花・惣菜・菓子類の加工品の販売者別のブース設定による宣伝・レシピ・広告を行います。</li> <li>・イベントや売り出し時に各生産者及び加工品の宣伝を掲載して特別販売を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度加工品出荷物販売額（上期） 18,526千円</li> <li>・宣伝の掲載回数 6回</li> <li>・個別販売実績 120.0%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支店を拠点とし「年金友の会会員・女性部会・組合員・JA利用者」等を対象とした税務相談等、また「食と農」をテーマとした催しを開催し、支店の機能を活性化させる試みを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回</li> <li>「食・農」テーマとした、支店利用者による川柳コンテスト実施（出店支店主幹全支店） 応募総数 115作品 2月結果発表</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・小中学校・警察・地域協議会等と連携した中で、地域連携開催をアピールし、JAの存在価値を高める催しを開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 2地区(回) アンパンマンキャラバン交通安全教室 平成30年9月15日(土)</li> <li>・親と子の交通安全ミュージカル 平成30年10月19日(金) 両開催共 於) 芸術文化会館さくら</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑味ちゃんクラブ」、「JAみどりの会」の組織統一を図り、JAしが女性協議会との連携した活動の展開を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月23日女性部設立</li> <li>・料理教室5回 参加者88名</li> <li>・女性部ポイントカードの導入・発行 女性部活動参加に対してポイント付与</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の大切さ・食を支える農の役割などの理解を深める活動の展開により、「食と農」、「地域とJA」の結びつき強化を目指す「食農教育プラン」を実践していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わんぱくスクール開校 参加者45名（第12期生）</li> <li>・クッキングフェスタ開催 平成30年12月7日開催 参加者124名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「JAみどりの会」の活動支援を行うとともに、女性部内での連携を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「JAみどりの会」サロン開催・参加数 16会場・437名 サロン参加者用弁当を「ベジまま工房」に注文し、女性部内の連携を図る</li> </ul>

## II. 総合事業による地域の活性化とくらしの支援

責任部署	重点施策	評価指標 (直近値)	目標値	
			H29	H30
(株)JA栗東市 (石油事業所)	環境変化への対応(近隣競合店、低燃費車)と油外商品(洗車、タイヤ等)の推進を行います。 農業用エネルギーコストの低減を行います。	給油所供給高 315,000千円 プリカ利用率 30.0% 油外(洗車) 9,500台 農家利用率 8.0% 平成28年度 給油所供給高 321,644千円 プリカ利用率 37.9% 油外(洗車) 10,053台 農家利用率 8.3% 平成29年度 給油所供給高 398,959千円 プリカ利用率 41.3% 油外(洗車) 13,141台 農家利用率 7.7%	295,000千円 40.0% 10,000台 10.0%	300,000千円 50.0% 11,000台 15.0%
(株)JA栗東市 (ガス事業所)	保安と安定供給の徹底とふれあい訪問活動を通じ、他エネルギーとのベストミックスの浸透とLPガス関連事業へのアプローチを行います。	ガス供給高 259,000千円 ふれあい訪問 1,300件 新規・燃転軒数 30軒 平成28年度 ガス供給高 261,422千円 ふれあい訪問 1,620件 新規・燃転軒数 39軒 平成29年度 ガス供給高 258,633千円 ふれあい訪問 1,179件 新規・燃転軒数 36軒	265,000千円 1,400件 30軒	270,000千円 1,500件 30軒



平成30年12月末現在

行 動 計 画	平成30年度第3四半期 進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他店の動向を鑑み各種イベントを充実させ、固定客の確保と新規利用拡大を図ります。 更に、接客時にプリカ・洗車等への誘導を促す事で油外商品の販売促進を行います。</li> <li>・農家への農耕油の予約販売強化（価格メリット）実践により、燃料コストの低減を行い農家利用率の向上を図ります。</li> <li>・農業組合、営農組合、各種農業団体へ農家所得の一助となれるよう価格設定の見直しを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給油所供給高 367,998千円</li> <li>・プリカ利用率 46.1%</li> <li>・油外（洗車） 10,494台</li> <li>・農家利用率 14.1%</li> <li>☆農家所得の増大への対応とし、各種農業団体へ灯油・軽油の配達価格を割引販売</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者との接点活動の強化によりガス自主点検の充実を図り、ガス器具更新や水廻りリフォームに加え、他社からの燃料転換や他エネルギーからの燃料転換の提案を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス供給高 173,076千円</li> <li>・ふれあい訪問 857件</li> <li>・新規・燃転軒数 26軒</li> <li>☆他業者への切換え防止と燃料総合利用を促す為、ガス利用者へ給油特別割引券の配布</li> </ul>

### Ⅲ. 自己改革を支えるJA経営基盤の確立

責任部署	重点施策	評価指標 (直近値)	目標値	
			H29	H30
管理部 (総務課)	農協法、監督指針に基づくガバナンス構築を実施します。	地区推薦・理事会推薦による役員候補者を役員推薦委員会にて選考し、総代会に議案提出します。	役員改選 (6月)	—
管理部 (管理課)	公認会計士監査への移行対応を行います。 (経済事業の内部統制整備)	公認会計士監査移行(H31.9以降)に向け、主要業務プロセスの文書化及び運用状況の評価・改善を実施します。	検討・整備・改善	整備・改善
管理部 (総務課)	地域農業の維持・発展及び地域の活性化を支えていく正・准組合員の増強を目指します。	地域の実態に応じた見直しを行います。 准組合員の意見聴取・意思反映ができる仕組みの構築を行います。 組合員数の増加に取り組みます。	検討  検討  検討・実施	定款変更  実施  実施
内部監査室	公認会計士監査への移行対応を行います。 (リスクアプローチ監査移行)	公認会計士監査移行(H31.9以降)に向け、内部統制の整備状況検証を実施します。	実施	実施

平成30年12月末現在

行 動 計 画	平成30年度第3 四半期 進捗状況
改正農協法施行（H28.4.1）による、理事構成要件の変更を受け、役員候補者選出基準内規に基づく候補者の選出を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員推薦委員会を2回開催</li> <li>・第52回通常総代会において、改正農協法の要件を満たす役員体制の確立また、女性役員として2名を理事に登用</li> </ul>
県域の内部統制整備検討会議と並行した対応を進めます。	<p>内部統制状況の評価・確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済事業（農業支援部・販売促進部）は、中央会による運用状況のチェック活動を実施</li> <li>・信用事業の内部統制にかかる公認会計士による個別相談会参加</li> <li>・共済事業にかかるチェックリストを活用して実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正組合員資格の見直しを県域と調整しながら進めます。</li> <li>・広報誌（綴り込みはがき）活用などの意見聴取の機会づくりを行います。</li> <li>・広報誌（パンフレット）や各事業活動を通じて組合加入促進を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正組合員資格要件の見直しに向けて協議・検討</li> <li>・JAの自己改革に関する組合員アンケート調査取組 平成30年12月～ 対象組合員7,100名 正組合員 1,429名 准組合員 5,671名</li> <li>・組合員貯金金利優遇による組合員加入促進</li> </ul>
JA全国監査機構が実施するウォークスルーによる検証と連携した評価を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済事業（購買課）の整備運用状況について、平成31年1月内部監査にて検証すると共に、2月JA全国監査機構と連携した中で、再度検証を実施</li> </ul>



歩んだ協同、絆で未来を。  
**栗東市農業協同組合**

**本店**

〒520-3015 滋賀県栗東市安養寺8丁目2番13号  
TEL (077)552-0542 FAX (077)552-0546  
URL <http://ja-ritto.jp/>  
E-mail [kinyu@ritto.jas.or.jp](mailto:kinyu@ritto.jas.or.jp)

**JA栗東市総合センター桃李館**

〒520-3016 滋賀県栗東市小野493-1  
TEL (077)552-0531 FAX (077)552-3137  
E-mail [ja@ritto.jas.or.jp](mailto:ja@ritto.jas.or.jp)

**金勝支店**

TEL (077)558-0351 FAX (077)558-0393

**葉山支店**

TEL (077)551-0062 FAX (077)551-0036

**治田支店**

TEL (077)552-1279 FAX (077)552-5474

**大宝支店**

TEL (077)552-3154 FAX (077)554-2753

**小野支店**

TEL (077)552-0534 FAX (077)552-1018

**出庭支店**

TEL (077)553-5061 FAX (077)553-5073

**小柿支店**

TEL (077)553-5060 FAX (077)553-5074

**株式会社JA栗東市**

**ガス事業所**

TEL (077)552-0533 FAX (077)552-4601

**石油事業所(給油所)**

TEL (077)552-7534 FAX (077)552-7534